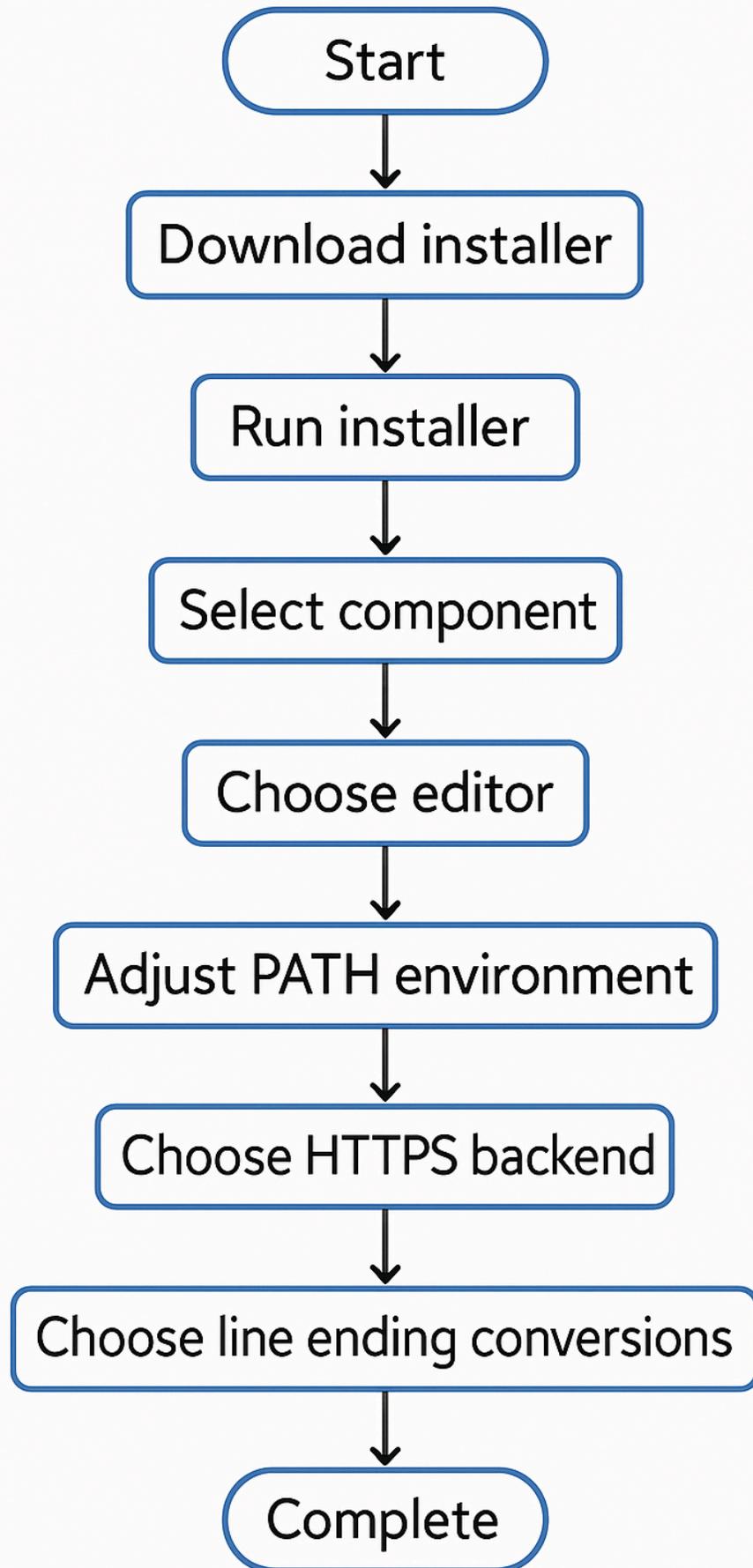


Git for Windows (Git Bash) 初心者向けインストールガイド

Git for Windowsは、Windowsユーザーが分散型バージョン管理システムのGitを利用するための必須ツールです^{[1] [2]}。このガイドでは、<https://gitforwindows.org/> から安全にダウンロードして、初心者でも迷わずインストールできる方法を詳しく説明します^{[2] [3] [4]}。Git Bashをインストールすることで、Linux/Unixライクなコマンドライン環境をWindowsで利用でき、プログラミング学習や開発作業が格段に効率的になります^{[2] [5]}。



システム要件と事前準備

動作環境の確認

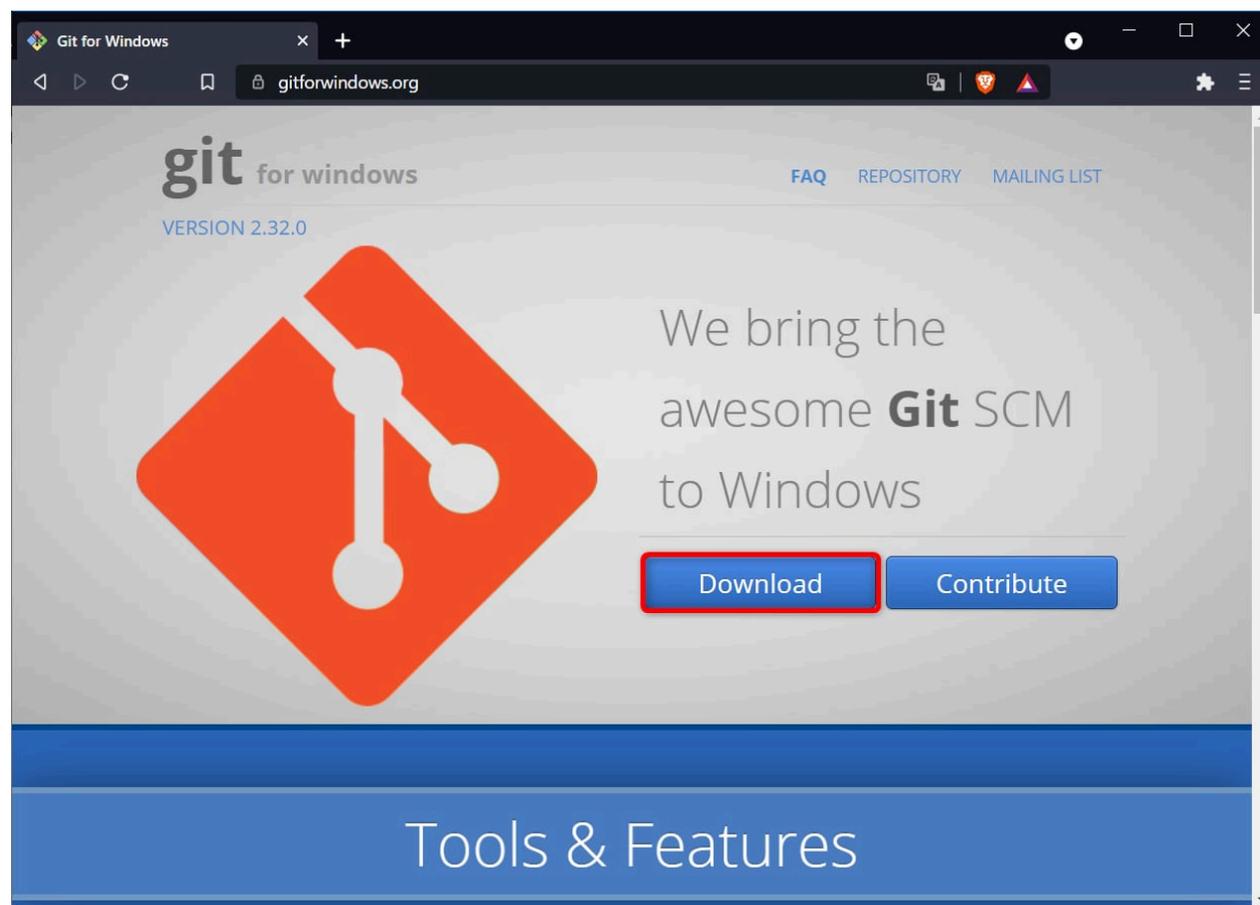
Git for Windowsをインストールする前に、お使いのコンピューターが以下の要件を満たしていることを確認してください^{[6] [7]}。対応OSはWindows 10以降となっており、Windows 7/8はサポート対象外です^{[6] [7]}。必要なディスク容量は約100MB程度で、64ビット版の使用を強く推奨します^[6]。

32ビット版は2025年に最後の対応バージョンがリリースされる予定のため、長期的な利用を考えると64ビット版が適切です^[7]。インストール時には管理者権限が必要になるため、アカウントに管理者権限があることを事前に確認してください^{[3] [8]}。

ダウンロード手順

公式サイトへのアクセス

まず、Git for Windowsの公式サイト (<https://gitforwindows.org/>) にアクセスします^{[2] [4] [5]}。ブラウザのアドレスバーにURLを直接入力するか、検索エンジンで「Git for Windows」と検索してください^[2]。

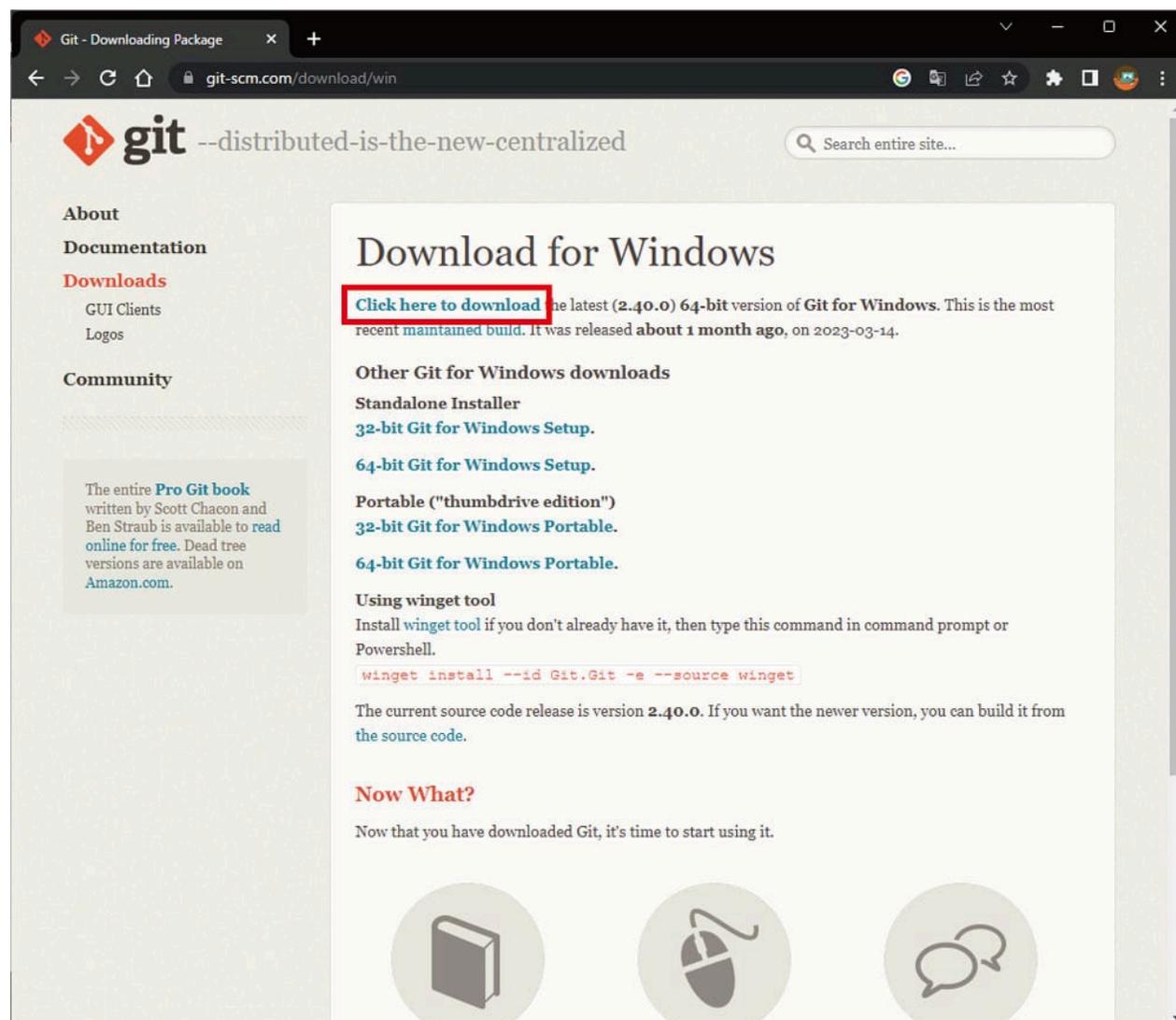


Git For Windows Website Homepage Featuring a Download Button

公式サイトトップページには「Download」ボタンが目立つように配置されており、現在の最新バージョンが表示されます [1] [9]。2024年10月時点での最新版はv2.47.0ですが、アクセス時点での最新版を確認してダウンロードしてください [7]。

インストーラーのダウンロード

「Download」ボタンをクリックすると、自動的に64ビット版のインストーラーがダウンロードされます [2] [3] [8]。ダウンロードされるファイル名は「Git-[バージョン番号]-64-bit.exe」の形式になります [8] [10]。



Git For Windows download page showing download options

ダウンロードが完了したら、通常はダウンロードフォルダにファイルが保存されます [5] [10]。ファイルサイズは約50MB程度で、ダウンロード時間はインターネット接続速度によって異なります [8]。

詳細なインストール手順

インストーラーの起動

ダウンロードしたexeファイルをダブルクリックして、インストーラーを起動します^{[3] [4] [10]}。
Windowsのユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、「はい」をクリックして続行してください^{[4] [6]}。

ライセンス同意

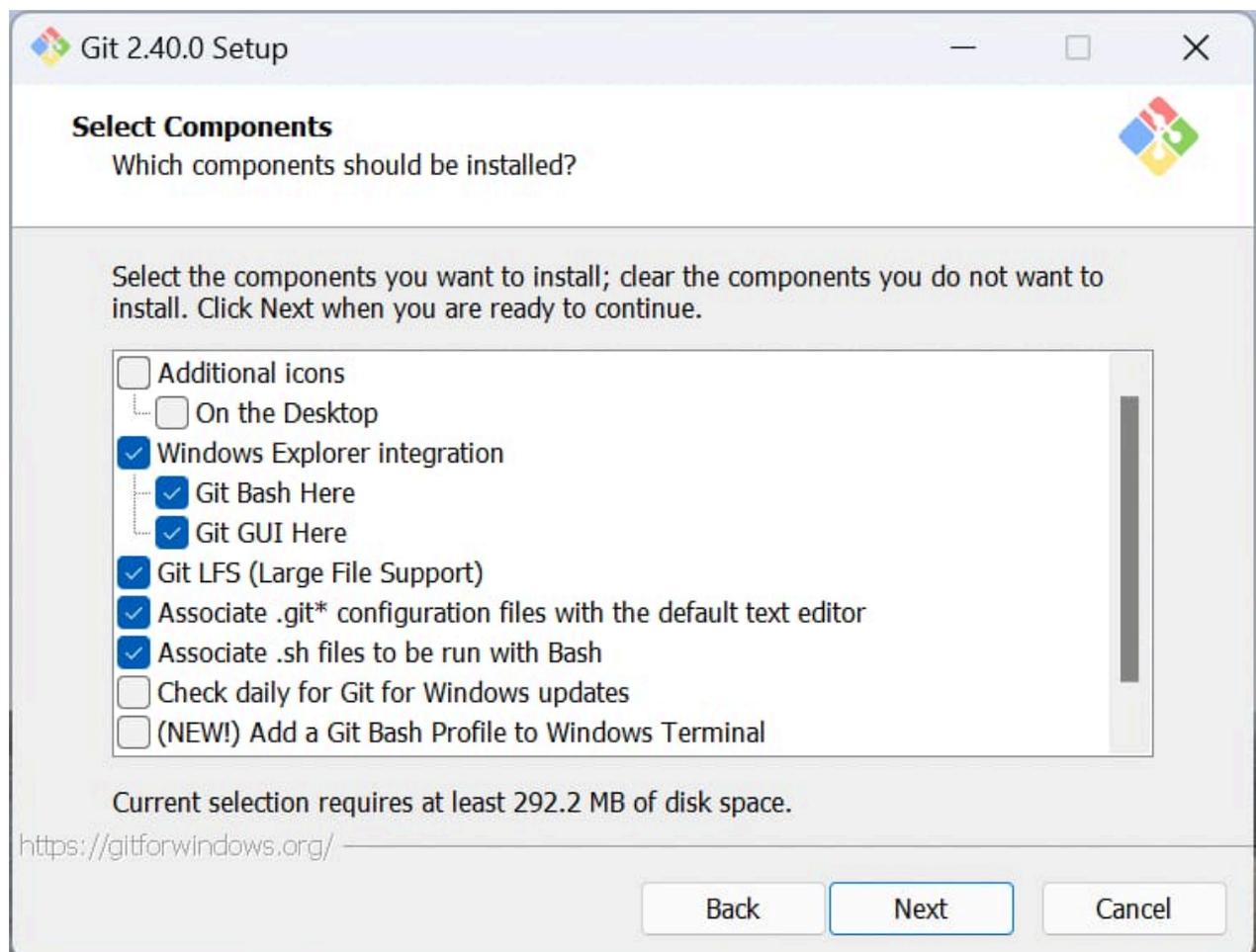
最初にGPLv2ライセンスの内容が表示されます^{[3] [4] [8]}。これは商用利用も可能な自由なライセンスです^[3]。内容を確認したら「Next」ボタンをクリックして次のステップに進みます^{[2] [3] [4]}。

インストール先の選択

インストール先フォルダの選択画面が表示されます^{[2] [3] [8]}。特別な理由がない限り、デフォルトの「C:\Program Files\Git」のままです^{[2] [3]}。変更が必要な場合は「Browse...」ボタンで別のフォルダを指定できます^[5]。

コンポーネントの選択

インストールするコンポーネントの選択は、初心者にとって最も重要な設定の一つです^{[2] [3] [4]}。以下の項目を確認してください^{[2] [3]}：



Git for Windows installer showing component selection options.

- **Git Bash Here:** エクスプローラーの右クリックメニューからGit Bashを起動できるようになります^{[2] [3] [4]}
- **Git GUI Here:** グラフィカルなGitクライアントへのアクセスを提供します^{[3] [5]}
- **Git LFS:** 大きなファイルの管理に使用される機能です^{[5] [11]}
- **デスクトップアイコン:** デスクトップにGit Bashのショートカットを作成します^{[2] [3]}

エディターの選択

Gitで使用するデフォルトエディターを選択します^{[2] [3] [10]}。初心者におすすめの選択肢は以下の通りです^{[1] [2] [3]}：

- **Nano:** シンプルで使いやすく、基本的な編集作業に適しています^{[3] [4]}
- **Visual Studio Code:** 高機能で直感的、既にインストールされている場合に推奨します^[10]
- **Vim:** 高機能ですが操作に慣れが必要なため、上級者向けです^{[2] [4]}

PATH環境変数の設定

「Git from the command line and also from 3rd-party software」を選択することを強く推奨します^{[3] [4] [5]}。この設定により、PowerShell、コマンドプロンプト、Visual Studio Codeなどの外部アプリケーションからもGitコマンドが使用可能になります^{[3] [4]}。

SSH実行ファイルの選択

「Use bundled OpenSSH」を選択してください^{[3] [4] [10]}。これにより、Git付属のOpenSSHが使用され、安定した動作が期待できます^{[3] [4]}。

HTTPS証明書の設定

「Use the OpenSSL library」を選択することをお勧めします^{[3] [4] [10]}。この設定により、GitHubやBitbucketなどの主要なGitホスティングサービスとの互換性が確保されます^[3]。

改行コードの設定

Windows環境での開発を主に行う場合は「Checkout Windows-style, commit Unix-style line endings」を、Linux/macOSとの互換性を重視する場合は「Checkout as-is, commit as-is」を選択してください^{[3] [4] [10]}。初心者にはデフォルトの「Checkout Windows-style, commit Unix-style line endings」が推奨されます^{[4] [10]}。

ターミナルエミュレーターの選択

「Use MinTTY (the default terminal of MSYS2)」を選択してください^{[3] [4] [10]}。MinTTYは高機能で、ウィンドウのリサイズ、Unicode対応、柔軟なコピー&ペースト機能を提供します^{[4] [11]}。

その他の設定オプション

残りの設定項目（git pullの動作、認証情報管理、追加オプション）については、基本的にデフォルト設定のままで問題ありません^{[3] [4] [10]}。特別な要件がない限り、推奨設定を選択してください^[4]。

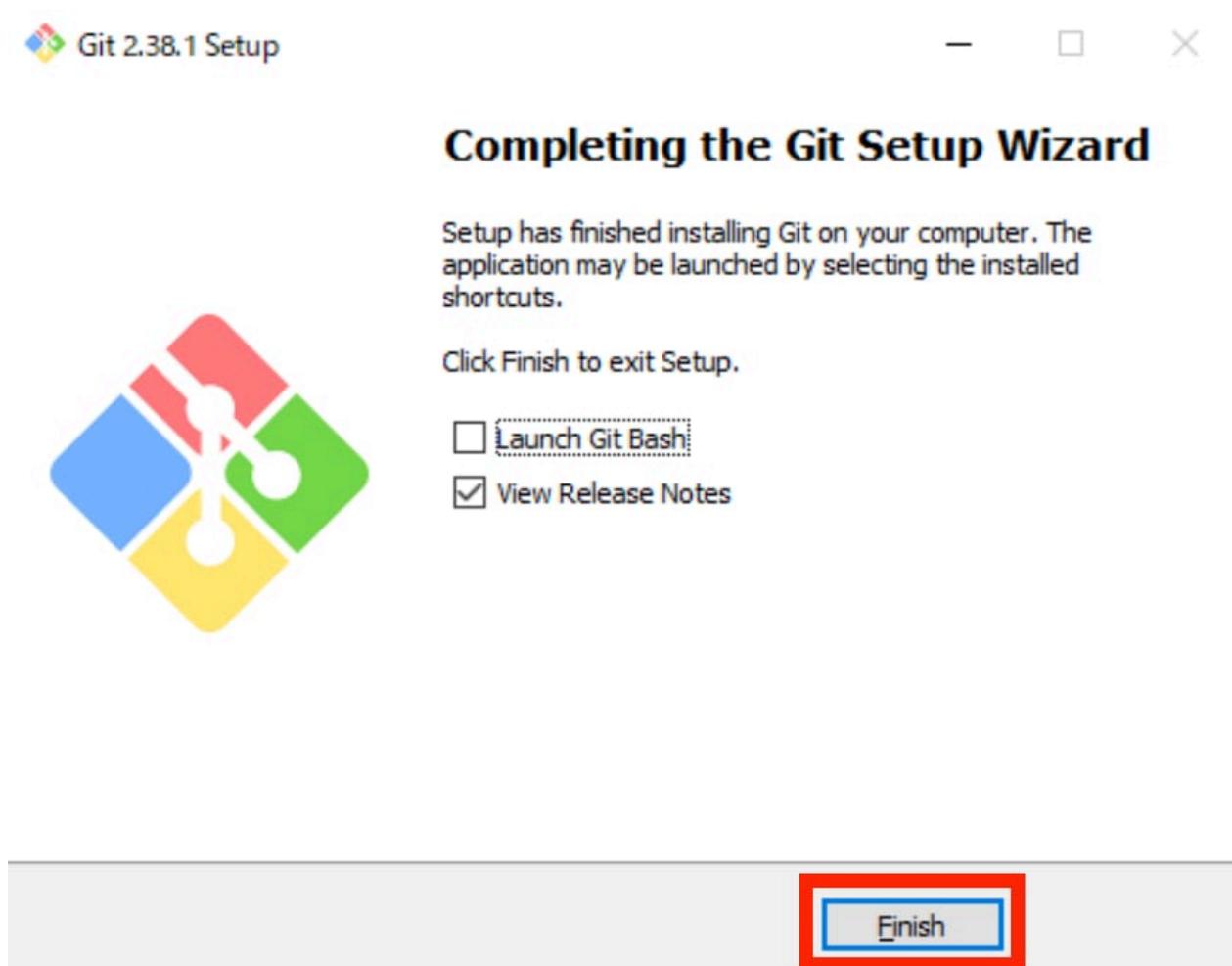
インストール実行

すべての設定を確認したら、「Install」ボタンをクリックしてインストールを開始します^{[4] [10]}。インストール処理には通常数分程度かかります^{[3] [10]}。

インストール完了とGit Bashの起動

インストール完了画面

インストールが正常に完了すると、完了画面が表示されます^{[2] [5] [10]}。「Launch Git Bash」にチェックを入れて「Finish」ボタンをクリックすると、インストール直後にGit Bashが起動します^{[2] [5]}。



Completing the Git Setup Wizard after installing Git for Windows.

手動でのGit Bash起動

後でGit Bashを起動する場合は、Windowsのスタートメニューを開き、「Git」フォルダを探して「Git Bash」をクリックしてください^[2] ^[12] ^[13]。デスクトップアイコンを作成した場合は、そちらからも起動できます^[2] ^[3]。

インストール後の初期設定

Git Bashを初めて使用する前に、ユーザー情報の設定を行う必要があります^[12] ^[13]。この設定は、コミット履歴に記録される作成者情報として使用されます^[12] ^[13]。

ユーザー名とメールアドレスの設定

Git Bashを起動して、以下のコマンドを実行してください^[12] ^[13]：

```
git config --global user.name "あなたの名前"  
git config --global user.email "your.email@example.com"
```

これらの情報は公開リポジトリでも表示されるため、公開しても問題ない名前とメールアドレスを使用してください^[12]。

カラー出力の有効化

コマンド出力を見やすくするため、以下のコマンドを実行します^[12] ^[13]：

```
git config --global color.ui auto
```

設定の確認

設定が正しく行われたかを確認するには、以下のコマンドを実行してください^[12] ^[13]：

```
git config --list
```

動作確認とトラブルシューティング

バージョン確認

Git Bashが正常にインストールされているかを確認するため、以下のコマンドを実行してください^[4] ^[12]：

```
git --version
```

正常にインストールされていれば、インストールしたGitのバージョン番号が表示されます^[4] ^[12]。

よくある問題と対処法

インストール中にエラーが発生した場合は、以下の点を確認してください^{[1] [3]} :

- 管理者権限でインストーラーを実行しているか^{[3] [8]}
- ウイルス対策ソフトがインストールを妨げていないか^[1]
- 十分なディスク容量があるか (100MB以上) ^[6]
- 既存のGitインストールとの競合がないか^[3]

まとめと次のステップ

Git for Windowsのインストールが完了すると、WindowsでLinux/Unixライクなコマンドライン環境が利用できるようになります^{[2] [5]}。Git Bashは、SourceTreeやTortoiseGitなどの他のGitクライアントと共存可能で、開発環境の柔軟性を向上させます^[1]。

インストール後の次のステップとして、Gitの基本コマンドの学習、GitHubアカウントの作成、SSH鍵の設定などを進めることで、本格的な開発作業に取り組めるようになります^{[1] [12]}。このガイドに従ってインストールを行えば、安全で実用的なGit環境が構築できます^{[1] [3]}。

✻

1. gitforwindows.org
2. https://sukkiri.jp/technologies/devtools/git/git_win.html
3. <https://memoteki.net/archives/5586>
4. https://scrapbox.io/interaction-lab-git/Git_Bash_をインストールする方法
5. <https://eng-entrance.com/git-install>
6. <https://qiita.com/mmake/items/63a869272c0dfa1d50a4>
7. <https://forest.watch.impress.co.jp/docs/news/1630049.html>
8. <https://proengineer.internous.co.jp/content/columnfeature/6893>
9. <https://github.com/git-for-windows/git/releases/tag/v2.49.0.windows.1>
10. <https://qiita.com/takeru-hirai/items/4fbe6593d42f9a844b1c>
11. https://b-risk.jp/blog/2022/03/2022git_install/
12. <https://qiita.com/darcy-it/items/98e9f79a89beef15c803>
13. <https://qiita.com/h-ohshiro-1226/items/5906af6692904e246994>